

超高齢社会における義歯患者満足度の向上について

川島 哲

近代歯科医療の質的向上により、高齢者における残存歯は増える傾向にある。

多数歯欠損（少数残存歯）であっても、総義歯に移行しないパーシャルデンチャー需要が増加する。

そこで様々な欠損補綴の中で可撤性装置（義歯）・非可撤性装置のインプラント・崩壊後のインプラントを含めた様々な連携もしくは連動性が生じてくる。

複雑な欠損様式にあっても、私達専門家は、患者満足度の向上を責務とする。

今回は歯科医療人（歯科技工士）による様々な特別なアプローチを情報公開することで、歯科技工士の職業的立場の確立を含めた経済問題も同時に展望する。